



平成の大合併 九州第1号 合併特例債を活用して 新しいまちづくりを推進

「新修宗像市史」現代部会から

現代部会は、主に第二次世界大戦が終結した昭和20（1945）年8月15日以降の宗像地域の教育環境、市民協働によるまちづくり、都市ブランド戦略などについて取材を進めています。

新「宗像市」は平成15（2003）年4月1日に「平成の大合併」の九州第1号として宗像市と玄海町が合併して誕生し、同17（05）年3月28日には大島村を編入合併しました。合併の最大の効果と言われる合併特例債を活用した市の代表的なまちづくり事業「J・R赤間駅北口整備」を紹介します。

問い合わせ先 郷土文化課 ☎(62)2600

宗像の「新玄関口」完成

J・R赤間駅北口整備事業

合併当初の人口は約9万3000人（今年6月末日現在は9万6920人）です。宗像大社や鎮国寺など歴史的なシンボルは県内外にその名を知られていますが、市の顔となる玄関口がありませんでした。そこで、市の中心拠点化を目指して

事業の対象地域は、赤間駅前北口を中心に東西約400m、南北約100m以内の約3・6畝です。それまでの赤間駅前北口は、古くなった木造住宅と空き店舗が密集し、商業地としての機能が低下していました。さらに駅を挟んで南北に大型商業施設があり、店舗経営は厳しいものがありました。

市は、これまで51事業に合併特例債を活用しています。平成15（2003）

合併特例債は、国が合併を認めた市町村に新たなまちづくり事業のために発行を認める地方債です。対象は、合併時に策定した市町村建設計画に基づき事業や、地域振興に必要な基金の積み立てに限られます。発行限度額は、合併する市町村の数や人口などで決まります。一番の魅力は、元利償還金の70%を国が後から交付税で補ってくれることです。

平成19年に世界遺産登録された「石見銀山とその文化的景観」は、当初、鉱山遺跡のみでの登録を目指していましたが、その後、鉱石を運ぶ道と、船へ積み込むための港を構成資産に加えました。世界遺産登録には、鉱山で採掘された鉱石を運搬し、海外へ輸出する一連のストーリーが求められ



中津宮、辺津宮、沖津宮を構成資産に入れた遺跡（柳之御所遺跡）を含め登録を目指していましたが、浄土思想とこれらは関係がないとして除外されました。現在、暫定リストに記載され、追加登録を目指しています。

この記事がみなさんに届くころには、世界遺産委員会での審査結果がでています。同委員会でも、沖ノ島だけでは説明できない、信仰の遺産としての価値が認められることを願うばかりです。
問い合わせ先 世界遺産登録推進室 ☎(36)9456

合併特例債の発行限度額
事業221億9700万円
基金37億250万円



記載と除外のはざままで

世界遺産登録活動は、「沖ノ島を世界遺産に」をキャッチフレーズに平成14年から始まり、19年からは関連遺産群の文字はありませんでした。いつから関連遺産群を付けて登録活動が始まったのでしょうか。

本遺産群は、沖ノ島の古代の祭祀（さいし）をだれが、どのように行い、その信仰がどう広がったのか、沖ノ島に加え、新原・奴山古墳群や

本遺産群と同様にイコモス勅告で一部の資産が除外された遺産として、平成23年に登録された「平泉仏国土（浄土）」を表す建築庭園及び考古遺跡群があり、浄土思想を表す庭園や中尊寺金色堂

原三代が営んだ荘園（骨寺村荘園）や政治を司った遺跡（柳之御所遺跡）を含め登録を目指していましたが、浄土思想とこれらは関係がないとして除外されました。現在、暫定リストに記載され、追加登録を目指しています。



電波時計塔の除幕をした関係者



藤原三代が営んだ骨寺村荘園



昭和30年頃の赤間駅

事業費のうち、41億7270万円を合併特例債で賄い、市の負担は約1億5585万円です。残額は国からの補助金です。市が事業費を全額負担すれば、財政運営に大きな影響を与えることは避けられません。合併したからこそ、この大事業が可能になったと言っても過言ではありません。

公共施設の主なものは、▽赤間駅北口駅前広場5000平方メートル（バス停3カ所、タクシー乗り場2カ所など）▽街区公園2カ所計1080平方メートル（総延長約1キロの道路幅4～9メートル）などです。同時に駅舎と北口駅前・南口駅前の両広場を結ぶ自由通路やエスカレーターなども完成し、名実ともに宗像の「新玄関口」になりました。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 世界遺産登録記念

みあれ祭陸上神幸 子ども参加者募集

宗像大社の三女神がそろうみあれ祭。大島の中津宮から神湊まで漁船が勇壮な海上絵巻を繰り広げる海上神幸と、神湊から辺津宮までを神輿行列で練り歩く陸上神幸から成る祭です。

稚児装束を着て練り歩きます（陸上神幸の様子）

今年は、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録を記念し、未来を担う子どもたちに伝統文化の担い手として、また、郷土への誇りを持ってもらうため、陸上神幸に参加する小学生を募集します。当日は、稚児装束を着て行列に参加します。
*玄海小と玄海東小の児童は、学校単位で参加のため応募不要

- 日時 10月1日(日)9:00~13:00 *準備を含む
- 参加区間 神湊と辺津宮 間の一部
- 対象 9月10日(日)午前中に海の道むなかた館で開催する事前説明会に参加できる市内の小学5、6年生 *説明会の詳細は後日通知
- 定員 抽選で20人 ●参加料 無料
- 申込締切日 8月17日(木)
- 申込方法 ●返信 表面 ●返信 裏面

宗像市 深田5088 海の道むなかた館行	何も書かないで ください
62 申込者の 郵便番号、 住所、氏名を 明記	陸上神幸子ども 参加者申込み ①児童の名前(ふりがなも) ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤小学校名・学年 ⑥性別 ⑦身長と体重 (稚児装束のサイズで使用)

問い合わせ先 郷土文化課 ☎(62)2600